

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2012年第48号(週報)

2012年第48週(11月26日~12月2日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 感染性胃腸炎 : 和歌山市、海南、岩出保健所管内で患者報告数が多い! 一

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルス等による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。毎年、秋から春先にかけて患者報告数が多く、この時季はノロウイルスやロタウイルスが主な原因となっています。

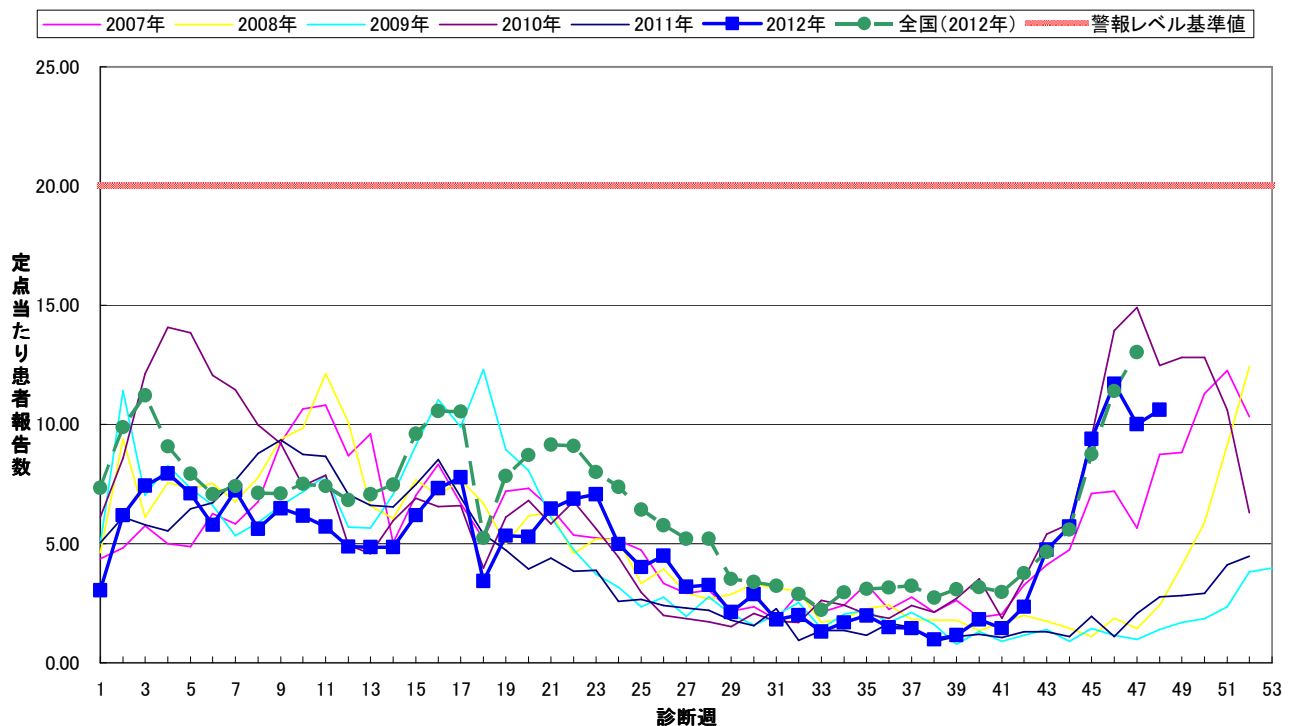
県全体の定点当たり患者報告数は、10.61人(前週:10.00人)とほぼ横ばいで推移しており、過去5年間の同時期と比較して多くなっています。今シーズンは、2007/2008年、2010/2011年シーズンと同様に早い時期から患者報告数が増加しています。

特に患者報告数が多いのは、和歌山市保健所管内(15.44人)、海南保健所管内(11.00人)、岩出保健所管内(20.25人)です。このうち、和歌山市、岩出保健所管内で警報レベルとなっています。

全国の第47週の定点当たり患者報告数は13.02人(第46週:11.39人)で、全国的にも患者報告数は多くなっています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては食中毒としての経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



— **RSウイルス感染症** : **御坊保健所管内での報告が多い!** —

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

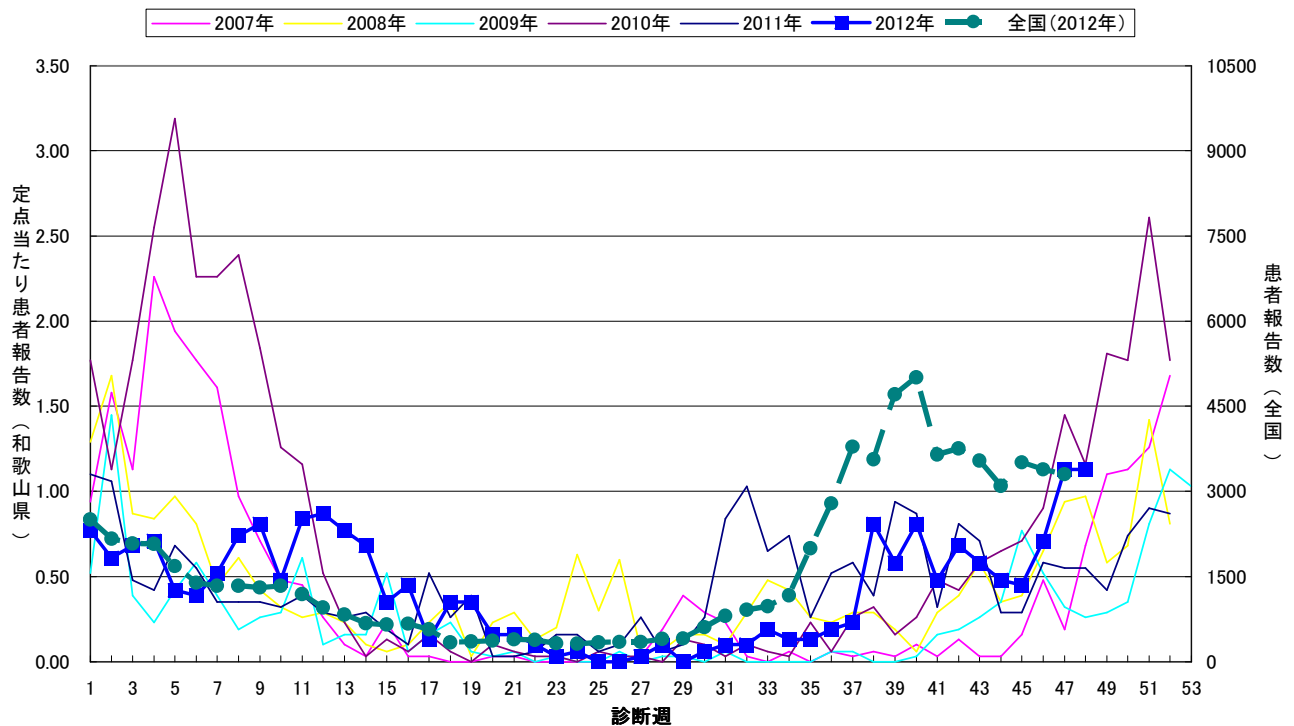
県全体の定点当たり患者報告数は、1.13人（前週：1.13人）で、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。特に、御坊保健所管内の定点当たり患者報告数が6.00人と多くなっています。

全国約3000の小児科定点医療機関から報告された第47週の患者報告数は3303人（第46週：3386人）で、横ばいで推移しています。

今シーズンは10月初めに一度患者報告数の増加が見られましたが、この疾病は例年、年末から2月にかけて流行のピークとなることが多いため、今後の動向に注意が必要です。

感染予防策としては、手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症



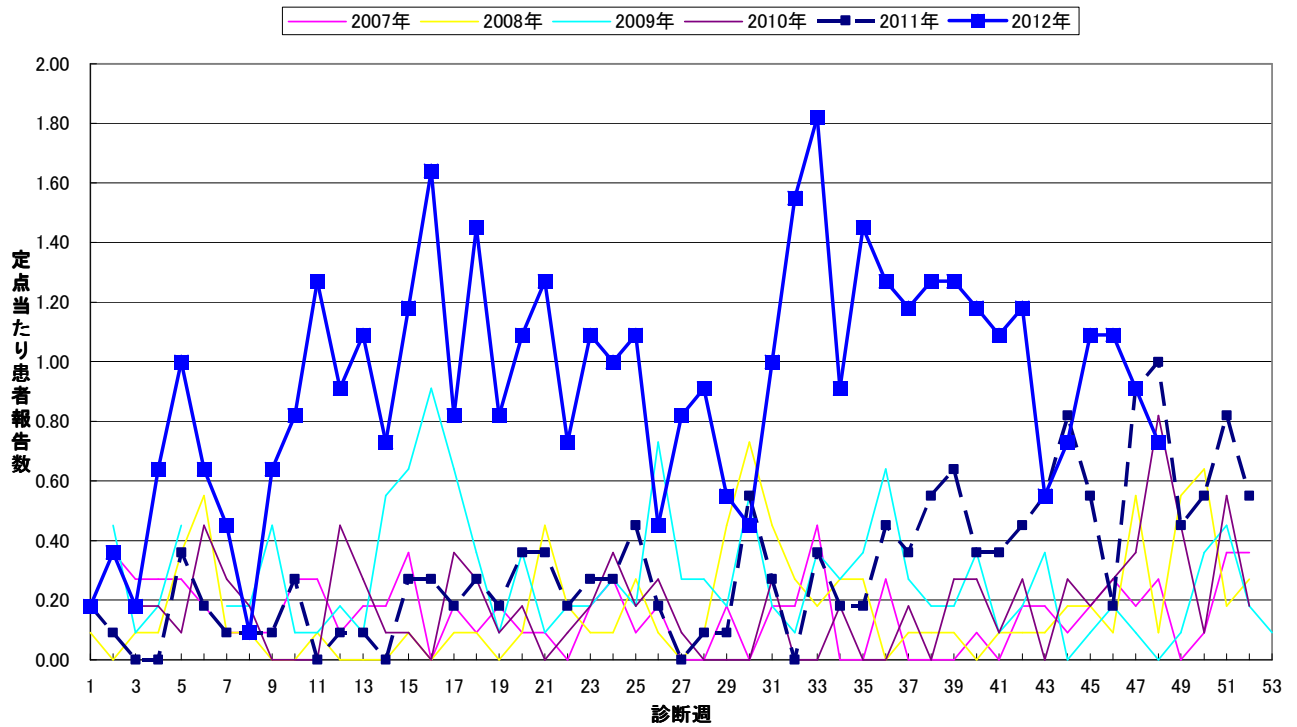
— **マイコプラズマ肺炎** : **患者報告数は依然多い!** —

県全体の定点当たり患者報告数は0.73人（前週：0.91人）と減少しましたが、例年と比較して多い状況が続いています。

全国の第47週の定点当たり患者報告数は1.06人（第46週：1.32人）で、東日本を中心に報告数が多くなっています。

感染予防策としては、インフルエンザと同様でうがい・手洗いの励行や普段からの健康管理が大切です。

マイコプラズマ肺炎(和歌山県全体)



◆◆ これから注意が必要な感染症 ◆◆

— インフルエンザ —

現在のところ、和歌山県では患者報告はまだほとんどありませんが、例年は12月頃から患者報告数が増え始め、1～3月にかけて流行のピークを迎えます。

全国的には一部地域で注意報レベルとなっていますが、今のところ大きな流行はまだ見られません。なお、11月20日に今シーズン県内最初のインフルエンザ様疾患集団発生届けがありました。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 2名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：デング熱 1名
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	310
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	18
A型肝炎	1
つつが虫病	4
デング熱	1
日本紅斑熱	23
レジオネラ症	2
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	2
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
後天性免疫不全症候群	7
梅毒	5
破傷風	2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
風しん	10

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

感染性胃腸炎（和歌山市、岩出保健所管内）

注意報レベル

水痘（田辺保健所管内）

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル	疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値		開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10	伝染性紅斑	2	1	-
咽頭結膜熱	3	1	-	百日咳	1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	ヘルパンギーナ	6	2	-
感染性胃腸炎	20	12	-	流行性耳下腺炎	6	2	3
水痘	7	4	4	急性出血性結膜炎	1	0.1	-
手足口病	5	2	-	流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	5	-	10	-	-	12	4	4	-
	定当	0.56	-	2.5	-	-	6	1	2	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	12	3	8	-	3	-	3	1	-
	定当	1.33	1.5	2	-	1	-	0.75	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	139	22	81	29	20	5	27	6	-
	定当	15.44	11	20.25	7.25	6.67	2.5	6.75	3	-
水痘	報告	20	1	8	-	5	5	16	-	-
	定当	2.22	0.5	2	-	1.67	2.5	4	-	-
手足口病	報告	-	-	-	6	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	1.5	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
突発性発しん	報告	2	-	8	-	3	2	-	-	-
	定当	0.22	-	2	-	1	1	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	0.5	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	1	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	1	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	2	…	1	-	-	2	2	1	…
	定当	0.67	…	1	-	-	2	1	1	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2012 年第 48 号

発行日：平成 24 年 12 月 6 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。